

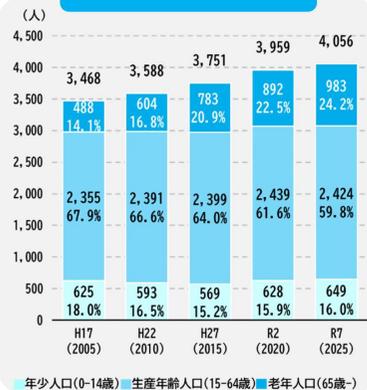
# 豊沢地区

構成自治会連合会：豊沢



良好なコミュニティや自然豊かな景観、法多山などの観光地、さらに医療・企業・交通など多様な機能が充実しており、暮らしやすい地域です。地区内には大学があり、近隣には小中学校や高校もある文教地区で、人口も増加しています。

## 人口推移



## 現状 (SWOT 分析「強み」から)

- 人口・世帯数ともに増加傾向にあり、地域のつながりも良好で、活気あるまちづくりが進められています。
- 地区内には静岡理科大学があり、近隣に小・中学校・高校が立地する文教地区で、法多山などの観光資源も地域の魅力です。
- 豊かな茶園や桜並木などの自然景観に恵まれ、市民農園や豊沢の丘公園、防災広場など、公園・緑地も充実しています。
- 地区内にはクリニックや歯科医院、助産院などの医療機関があり、隣接地域には商業施設や体験施設もあるため、生活利便性が高い地域です。
- JR 愛野駅・袋井駅へのアクセスや主要道路の整備により車の交通利便性が高く、企業も立地しており、地域の経済基盤を支えています。

## 課題 (SWOT 分析「弱み」から)

- 桜並木や茶園などの自然景観や文化施設の魅力が十分に知られておらず、子どもたちが地域での遊び方を知らないなど、地域との関わりが薄れつつあります。
- 高齢化や核家族化が進行しており、地域の支え合いや活力の維持が懸念されています。
- 空き家や荒廃農地の増加に加え、有害鳥獣の出没も見られるため、地域環境の維持管理が求められています。
- 土砂災害で被害を受けるおそれのある区域の存在や、狭い道路・暗い夜道・老朽化したインフラなどにより、災害時の安全確保が心配されています。
- 公共交通機関が少なく、地区によっては商業施設が乏しいなど、生活の利便性に地域差があります。
- 雑草や雑木の繁茂などにより、景観の維持や環境整備が十分に行き届いていない箇所があります。

## まちづくりの方針図



## スローガン 目指すまちの姿

世代を超えて支え合い  
自然や文化と調和する 住みやすいまち

## まちづくりの推進方針

- 1. 自然と暮らし・文化が調和する、持続可能なまちづくり**  
自然や農業の景観を活かし、地域交流と歴史文化を大切に持続可能な暮らしを支えるまちをつくります。
- 2. 地域と学校の連携によるまちづくり**  
学校との連携により、みんなが居場所を持ち、世代を超えて活躍できるまちを育みます。

## 地域内の取組

まちづくり協議会主導

- 昔の遊びなど異世代交流による文化継承
- コミュニティセンターや自治会の枠を超えたまちづくりの推進
- 学校との連携と地域交流の場づくり(交流、イベント、講演など)
- 地域資源を活用した体験イベントの実施
- コミュニティセンターを活用した子どもの居場所づくり(学生・高齢者との交流)

- 法多山周辺に住みたくなる魅力的なまちづくりの工夫
- 茶ビアなど民間施設の活用による地域活性化
- 静岡理科大学との連携による地域づくり・農業支援
- 大学連携による荒廃農地の活用、農業の IT 化
- 伝統芸能の保存と活用(法多山の田遊び)

行政主導

- ◇ 静岡理科大学との包括連携事業(地域学)
- ◇ 県道袋井小笠線整備促進事業

○ まちづくり協議会が主導する取組 □ 協働による取組 ◇ 行政が主導する取組

## 地域のみなさんの声 (取組を進める上で参考となる意見など)

- 小笠沢川の整備(浸・草刈・雑木撤去ほか)を早急の実施し、住民の不安を和らげる治水・災害対策をしてほしい。
- 公会堂を開放することで、高齢者の居場所や外出のきっかけづくりにつながるのではないかと。
- 高齢で運転に自信がなくなってきた。移動式の選挙投票車や検診車の取組を検討してほしい。
- 地域で送迎や子育て支援などのボランティアを把握し、ネットワークを構築できるとよい。
- デマンドタクシーの停留所を増やしたり、電動バイクのシェアリングサービスを活用したりして、交通の利便性を向上してほしい。
- 小中学生が農業体験で野菜づくりを行い、農業の楽しさを体験できるとよいと思う。
- 若者(10~20代)に自治会長を任せたら、自治会活動が盛り上がるのではないかと。
- 古井戸(掘抜井戸)マップを作成し、災害時の利活用を図ってほしい。
- 豊富な湧水(神長近辺)の利活用や、誇れる眺望を活かす工夫ができるとよい。
- 学生による空き家リノベーションや、放課後・長期休業時に学習の場(寺子屋)ができるとよい。